

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	保健推進員設置事業(一般)			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	040200 - 201	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	保健活動の円滑な推進を図る。委嘱・活動報告に関する事務、研修会開催、事務局として保健推進員協議会の運営、活動に係わる等			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	保健推進員設置事業(一般)	市民	・後期全体研修会の実施・活動報告書の提出・協議会委員へのミニ学習会の実施・県の研修会への参加	後期全体研修会は新型コロナウイルス感染症の感染防止拡大のため中止 活動報告書 4,437件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	2,386	2,287	2,315	2,293	
人件費	751	687	1,230	1,982	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,137	2,974	3,545	4,275	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	保健推進員研修会参加者数	182人	176人	162人	研修会中止	
02	保健推進員活動報告書提出数	230人	230人	236人	238人	上半期で報告書が未提出の人には地区委員から提出するように呼びかけた。

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

03	保健推進員になって良かったと思う者の割合	80.9%	77.5%	80.2%	75.0%	保健推進員になって良かったと思う者の割合÷アンケート提出数×100 H24～良かったと思う者×提出者数×100
04	提出者一人当たりコスト	13,639円	12,930円	15,021円	17,962円	フルコスト÷提出者数
05	参加者一人当たりコスト	17,236円	16,897円	21,882円	研修会中止	フルコスト÷参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

全体研修会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止した。

問題点・課題等

保健推進員の定数等の見直しが必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

2020年に保健推進員協議会が30周年を迎えるにあたり、保健推進員の活動の見直しをしていく必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了